

リュウキュウツツジ

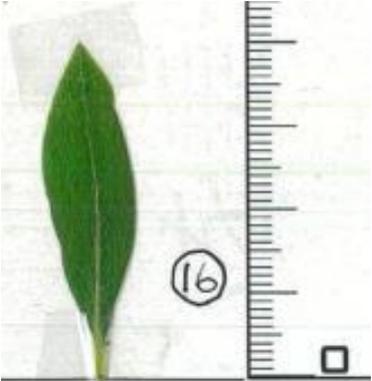
【 区画③(8), 区画⑤(16, 19) 】

学名	<i>Rhododendron × mucronatum</i> (Blume) G. Don	分類	ツツジ科ツツジ属
分布	北海道南部～九州, 公園・庭園等に栽植	樹高	1～2 m程度の落葉低木

〈 特徴等 〉

名前の由来	リュウキウツツジの由来は、琉球(現在の沖縄県)を経由して海外から日本全国に広まったことが和名の由来である。		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁・全縁
開花等	・5月ごろ白い花を咲かせる。花は先が5つに裂ける。		
結実等	・さく果(熟すと下部が裂け、種子が散布される果実)で、長さ1cm程度の細長い卵形である。10月頃に結実する。		
その他	・葉には軟毛(柔らかい毛)がたくさん生えている。 ・花が白いことから白琉球の別名がある。		

〈 写真 〉

		
樹木 (5/12)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (5/12)
		
葉 (6/12)	花 (5/12)	果実(実) (/)

林 将之 (2018) 『葉で見分ける樹木 増補改訂版』小学館, p. 116.
 国立科学博物館 (2009) 「植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園」, <http://www.tbg.kahaku.go.jp/recommend/illustrated/result.php?name=リュウキュウツツジ>